



## 山田 信博

(やまだ・のぶひろ)

1951 (昭和26)年12月5日東京都港区生まれ。1976 (昭和51)年、東京大学医学部医学科卒業後、同大第三内科入局、村勢敏郎先生の研究グループに加わり、アポE、LPLを研究テーマに脂質代謝研究を開始した。当初から問題処理能力の高さは抜きん出たものがあり、研究成果を次々に論文化。1983 (昭和58)年、米国・カリフォルニア大学サンフランシスコ校のDr. Havelの研究室に留学してアポEの精製に力を注いだ。帰国後の1987 (昭和62)年、研究室を引き継いだ。折しも、脂質代謝にかかわる酵素、アポ蛋白などの解明が進み、Brown, GoldsteinによるLDL受容体の発見、スタチンの開発・臨床応用化などが相俟って、脂質代謝領域に大きな新しい波が打ち寄せようとしていた。新時代の若きリーダーとして活躍の場は引きも切らず、以後、研究対象も、動脈硬化、糖尿病を中心に、生活習慣病、マルチプルリスクファクター症候群(後のメタボリックシンドローム)へと広がっていった。第三内科講師、助教授を経て、1999 (平成11)年、筑波大学臨床医学系内科(内分泌代謝)教授に就任、2007 (平成19)年からは筑波大学理事・附属病院院長を歴任した。2009 (平成21)年、筑波大学第8代学長に就任、動脈硬化と糖尿病という2大疾患の臨床・研究の第一人者としての実績に教育・行政のマネジメント経験が加わり、今後の医学界における指導的立場が確実視されていたが、2012 (平成24)年8月、脳梗塞を発症。以後、闘病生活を余儀なくされた。2015 (平成27)年10月13日、永眠。享年63歳。2008 (平成20)年、第40回日本動脈硬化学会総会・学術集會会長を務めた。

### 編集部から

山田信博先生が63歳の若さでこの世を去られて1年になります。山田先生には、『The Lipid』創刊時から、ご執筆はもちろんのこと、特集企画のご担当、座談会のご司会およびご出席など、大変ご協力をいただきました。本号では、『The Lipid』編集委員であり、山田先生の直弟子にあられる島野仁先生の構想をもとに、Meet the Boss 番外編の追悼企画として山田先生にゆかりの先生方にご寄稿と追悼座談会をお願いいたしました。各先生方の文章、また、座談会のご発言の向こうに明確な輪郭をもって立ち上がってくる、多くの人から慕われた山田先生の在りし日の姿をぜひ心に焼きつけていただければと思います。